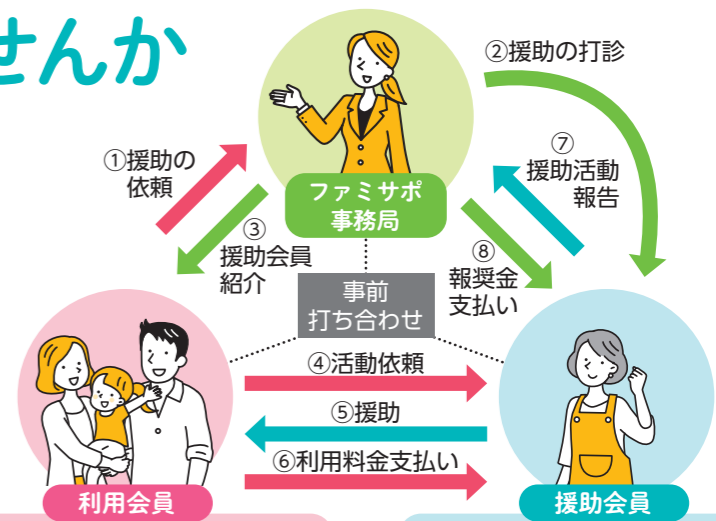


ファミリー・サポート・センターの 援助会員になりませんか



図ファミリー・サポート・センター
(子育て相談課内) ☎046(235)8300

ファミリー・サポート・センター(=ファミサポ)は、育児の援助を受けたい人(利用会員)と育児の援助をしたい人(援助会員)が助け合う制度です。市内では約170人の援助会員が活動しています。仕事や育児の合間を活用して、子育てのサポートができる援助会員を募集しています。地域で助け合い、子どもたちの成長を支えませんか。

対市内在住・在勤・在学中で、3カ月児～小学生のお子さんがいる方

対市内在住で、育児や保育に理解と熱意のある20歳以上の方

※利用会員・援助会員の両方に登録することもできます

援助会員になるには

援助会員の登録には講習の受講が必要です。栄養バランスの良い献立や子どもの救急処置、保健師による援助時の注意点などを学びます。

対上図のとおり

他報酬は1時間1,200円から(内訳：利用会員から800円、市から400円)

【講習会】

日①6月11日(木)②8月29日(土)③11月4日(水)④令和9年1月30日(土)

時9時～15時

場えびなこどもセンター

定各回先着15人

申電話でファミサポへ

他託児あり



利用会員になるには

会員登録(無料)が必要です。30分程度の説明があります。予約は電話または直接ファミサポへ。

対上図のとおり

費左表のとおり(別途初回打ち合わせ代400円。送迎などに係る往復の交通費・食事代・おやつ代・おむつ代などの経費)

①兄弟姉妹などの子ども2人以上を同時に預ける

②児童扶養手当証書またはひとり親医療証を所有している

③NEW 両方会員(利用会員に登録している援助会員)が援助活動をした時間相当分に対する利用料金

利用時間帯	基本利用料／1時間	ひとり親等世帯の利用料／1時間
(月)～(金) 6時30分～21時	800円	400円
(月)～(金) 21時～6時30分	1,000円	500円
(土)(日)(祝)、年末年始	1,100円	550円

デジタルえびな生きもの大調査 ～デジタルツールで生きもの観察～

図環境政策課 ☎046(235)4912

市内に生息する植物・昆虫・鳥・魚などを探し、写真や音声をスマートフォンアプリ「Naturalist」に記録します。小学生以下のお子さんは保護者と一緒に取り組んでください。

操作方法などの詳細は、市ホームページをご覧ください。

期5月23日(土)～8月31日(月) 対市内在住・在勤・在学の方



案内ページ

小学校で生きもの観察会

アプリの使い方を学び、学校内の生きものを観察します。

日5月23日(土)10時から

場杉久保小学校対市内在住・在勤・在学の方

程度対5月1日(金)から、

市ホームページで。電話または

直接環境政策課へも可

対スマートフォンまたはタブレット、室内履き他小学生

以下は保護者同伴



昨年の9月～11月に実施した調査では、1940件633種の生きもの観察記録が集まりました。

「えび〜くる」の実証運行期間延長

図福祉政策課 ☎046(235)4820

高齢者などの移動手段として実証運行中のデマンド型交通「えび〜くる」の運行期間を延長します。これに伴い6月1日(月)からは運行内容を一部変更します。道路運送法上の関係から内容を変更する場合があります。詳細は市ホームページをご覧ください。

変更内容

- 運行期間を令和9年3月31日(水)まで延長
- 午前中を増便
- ワゴン車両を導入
- 低所得世帯の高齢者の運賃を1人1乗車300円に減額(要申請)

減額の申請

対介護保険料算定における所得段階の「第1段階～3段階」で、①または②に該当する方 ①75歳以上②65歳～74歳で、要介護または要支援の認定を受けている時【共通】マイナンバーカードなどの本人確認書類・直近の介護保険料決定通知書(介護保険料の所得段階区分がわかる書類)、②は介護保険被保険者証

えび〜くるの運行

対①満65歳以上の方②障害者手帳または



は特定医療費(指定難病)受給者証所持者③母子健康手帳の交付を受けている妊婦④未就学児連れの親、①②は付き添い1人まで同乗可⑤1人1乗車につき500円他現金・交通系IC・クレジットカード利用可

事前に利用登録を

「えび〜くる」の利用には事前登録が必要です。郵送または直接福祉政策課へ。LINE「海老名市」からも登録できます。

費無料

対【共通】マイナンバーカードなどの本人確認書類【要介護・要支援認定者、介護予防・生活支援サービス利用者】介護保険被保険者証②該当者【障害者手帳または特定医療費(指定難病)受給者証】③④該当者【母子健康手帳

「ぬくもり号」「さくら号」の運行を5月30日で終了

無償運行や運転手の高齢化などにより運行の継続に課題を抱えていたため、上今泉地区と柏ヶ谷地区を中心に運行していた「ぬくもり号」と「さくら号」の運行を終了します。